

志の実現のため 今、何を為すべきか 常に考えてほしい

学校法人メイ・ウシヤマ学園（ハリウッドビューティ専門学校） 理事長
取材・文／堀水潤 撮影／中岡邦夫
山中祥弘



【理事長プロフィール】1941年生まれ。早稲田大学大学院商学研究科修了。ベンチャーキャピタルである特殊法人東京中小企業投資育成株式会社を経て現職。学校法人メイ・ウシヤマ学園ハリウッド大学院大学学長、日本理容美容教育センター理事、東京都専修学校各種学校協会副会長、都立六本木高校運営協議会委員。

【学校プロフィール】1925年創立。美容科、ファッション科、トータル美容科（ビューティアドバイザー・メイクアップアーティスト・ネイルアーティストコース他）。美容科は4年制の高度専門課程を併設。08年にハリウッド大学院大学開学。

日本の企業の強みは人材育成にあつたはず。しかしバブル崩壊以降、多くの企業は社内教育をやめ、不足したスペシャリストを派遣社員などで補うようになりました。その結果モチベーションは低下し、再び競争力をとり戻すには、社内教育の拡充による人材育成が必要で。しかし、中小企業に自力での社員教育は困難ですから、専門学校における専門職教育の充実が欠かせません。ハリウッドビューティ専門学校が2年制に加え、4年制の高度専門課程や専門職大学院を併せ持つのもこのためです。

ただ、専門職教育といっても本校では技術のみを教えるわけではありません。美的感性を磨く教育や、マナーや躰を含む社会人としての教養教育にも力を注いでいます。サービス業のなかでも美容の世界は接客時間が長く、技術や知識以上に人格や人間性が求められるからです。それでも国家試験の合格率が非常に高いのは、時間・学費・努力を有効に使う教育の生産性向上への努力をしているからに他なりません。

本校はまた、「人の尊さは志の高さによつて決まる」という教育理念で志の教育に力を入れています。資格取得だけを目的とせず、「世界」の技術を持つと

か「福祉に貢献する」など、大きな志を持つてほしい。そして、そのために今何を為すべきか考えてほしいのです。そこに至れば、強制されずとも自ずと勉強するようになるのです。

事実、中高での不登校経験者や遅刻常習者も含め、授業の出席率は高く、始業の2時間以上も前に登校する学生ともなるのです。保護者会では、わが子の変わりように驚く声があがりますが、変わったわけではありません。本来持つ能力が引き出されただけなのです。

ちなみに、その保護者会では親への想いをつづった作文を配ります。そこに書かれているのは、普段は照れ臭くて言えない親への感謝の気持ち。「立派な社会人になつて恩返ししたい」という言葉に保護者は感激します。

教育は学校だけで完結するものではありません。だから私たち学校には親子をつなぐ役目もある。夏休みの宿題として、保護者のヘアカットやマッサージ、ネイルなどを課すのもそのためです。

六本木ヒルズという最先端のファッションの場で先進技術を教えると同時に、こうした心の教育にも力を入れる。変わつているといえば、少し変わっている専門学校かもしれません。